「平成維新東京」の各種活動状況

【A】財務会計（担当・神村知行）1997/03/20現在

入金：前期繰越	777,519	出金：会報発行	826,920
会費収入	738,000	その他経費	27,235
協力金	64,000	合計	854,155
総会会場費	41,000		
会報売上	7,400	残高：郵便局	583,400
預金利息	217	さくらBK	190,581
合計	1,628,136	合計	773,981

※会報発行のうち郵送費@90円×3222通=289,980円
会報９ケ月分。会員数３５２名、前期末３３４名、今期入会２７名、退会９名。12月会員の未更新者６３名は実質退会として今後会報発送中止。更新者２年度２３１名、退会者１名を含む。３年度３０名、４・５年度９名、合計２７０名。

【B】ガラガラにっポン３月定例会報告（原暁美）

日　時：３月２９日（土）13：00～16：00
場　所：ガーデンカフェ　　出席者：　８名
議　題：

1)「みんなでお花見」バザー参加について
2)「ガラガラにっポン」キャッチフレーズ決定
　ガラガラポンで日本を変えよう！
　　「ガラガラにっポン」
　明日の東京を考える女性の会
3)「21世紀のライフスタイルを考える会」との関わりについて：テーマの内容をその都度検討し個人参加か協賛かを決める。
4)定例会開催日時・場所について
　定例会は第３、又は第４土曜日13：00～16：00
　場所はガーデンカフェに固定する。

報告事項：

1)即反応、即発信するプロジェクト（大崎）
　２月の定例会報告後少し遅れたが、それぞれ担当が発信、次の反応に向けて検討に入る。
2)都議会傍聴体験（悉知）
　平成8年度最後の都議会ということもあったせいか、審議らしいものはなく、実に形式的で、儀礼的で驚いてしまった。自分の選挙区選出議員を見るためにも、都議会をぜひ傍聴してみて下さい。

【C】大前研一通信購読者拡大委員会（治田桂四郎）

【大前研一通信・講読会員申込案内】
「1.郵送　2.パソコン通信」の別を記入。
郵便口座番号：００１１０－３－７０９３３４
振込名称：大前研一通信。　年会費：１万円。
問合先：TEL 03-3263-2411　FAX 03-3263-2430

根本二郎さん推薦の弁

新宿区　70才　佐藤鶴次郎

この度の都議会議員の選挙に、立候補されると言う根本氏に昨４月２日会って、現在の区議会議員としての、色々の角度から話を聴きました。活動の実体、政治に対する理念、人間性の豊かさを肌で感じ、此の人を推薦して東京都の官僚に載せられた青島都政を改革したいと考え、会員の皆さんに是非一度、根本氏を研究して戴き度推薦の弁を進める次第です。

私は新宿区の情報開示に就いて、ささやかな運動を進めて来ました。そこで感じた事は、役所と職員が一体と成ってどっぷりとぬるま湯に浸かって、のうのうとしている姿です。（一部の議員は異論を唱えていますが）区長の交際費は、伝票その他が無いので見せられない。議会の公開条例は、忙しくて作れない。出席日を調べたら月の出席が１日と言う月が在る。議員が揃って懇親会？など何度も出張している、等々。

その様な批判に対して、根本氏は率直に現況を認め危機感を感じている感に見受けました。

根本氏の区議会議員の１４年間の経験を生かし、民主主義の原点である「情報公開」を生かして、我々の会員を大いに触発して貰いたいと願うものです。根本氏はその我々の希望を充分受け止めて呉れるものと感じました。

根本さんを直接推薦している、笹本さんから、維新の会の会員で在る皆さんに、推薦の可否に就いて、電話その他で連絡が在ると考えますが、その時まで出来うる限り研究されて、我々の理想の社会に進む為のアクションをお願い致します。

【皆さんの声をお寄せ下さい】

1) １編１０００字以内。
　これ以上の寄稿は事務局にご相談ください。
2)内容は、本会報として相応しいと思われるものであれば自由です。
3)締切は毎月末日とします。
4)寄稿された原稿は原則として本会報に掲載しますが紙数の関係で割愛する場合もあります。
5)原稿には、氏名／住所／TEL／FAX／NIFTY-ID等を記入ください。
6)原稿送付先：会報事務局・杉原健児
　〒182東京都調布市柴崎2-13-3つつじが丘ハイムC509
　TEL&FAX 0424-86-6497　NIFTY-ID GEF03673